

大畑の家

サテライト型特別養護老人ホーム + 小規模多機能型居宅介護

緩和特例適用（避難経路確保タイプ）のため SP 設置義務免除



サテライト型特別養護老人ホームでは居室玄関から直接外部に避難可能のため、スプリンクラー設置義務免除

特徴

新築型の平屋建ての小規模多機能型居宅介護。同一建物内にサテライト型特養が併設されている（合計の延床面積 698.28 m²）ため、消防法別表第一 16 項（イ）の複合用途に該当する。平屋建てで全ての居室から直接外部に避難できるため、消防予第 231 号の特例に該当し、スプリンクラー設置義務が免除となった。

概要

法人名：社会福祉法人 恵仁福祉協会
 事業内容：小規模多機能型居宅介護
 （定員：18 名、通い：9 名、泊まり：3 名）
 サテライト型特養（定員 12 名）
 所在地：長野県上田市
 開設年月：2005 年 12 月
 新築/改修：新築
 耐震性能：新耐震基準
 延床面積：143 m²（小規模多機能型居宅介護のみ）
 （サテライト型特養との合計延床面積：698 m²）
 消防法区分：小規模多機能型居宅介護
 ：施行令 別表第一（6）項ハ
 サテライト型特養
 ：施行令 別表第一（6）項ロ
 両者の複合用途
 ：施行令 別表第一（16）項イ
 SP 設置状況：未設置
 夜勤体制：小規模多機能型居宅介護：1 名
 サテライト型特養：1 名



外観



付近見取図

● 消防水利

スプリンクラー設置義務免除について

- 同一建物内にサテライト型特養（消防法施行令 別表第一 6 項口）が併設されており、小規模多機能型居宅介護との合計の延床面積が 698.28 m²となる。従って、本来ならば、延床面積が 275 m²を超えるため、スプリンクラーの設置が必要となる。しかし、建物が平屋であり、サテライト特養では全ての居室の専用玄関から、小規模多機能型居宅介護でも掃き出し窓から直接外部に避難可能である。従って、消防予第 231 号の特例に該当し、スプリンクラー設備設置義務が免除された。
- 併設機能としてサテライト型特養があるため、木造の準耐火構造となっている。
- 土地および建物は地主の所有であり、事業主がこれらを借り受けている。これは構造改革特別区域の許可による規制緩和によって実現している。
- 平屋建てで準耐火構造のため、火気使用室以外は原則は内装制限がない（建築基準法第 35 条の 2、同施行令 128 条の 4）。しかし、具体的にはオープンキッチンにてガスオーブンを使用しているため、キッチンにつながる廊下も一体の火気使用室として扱い、廊下の壁および天井を準不燃材料とした。



サテライト型居住施設の居室玄関（外からみる）



小規模多機能の居間も掃き出し窓で直接外部に避難可能



オープンな厨房のため廊下も火気使用室として扱う



廊下壁に準不燃の木板パネルが立ち上がる（h=1,800）



公共の消防水利（正面奥が大畑の家）

防火管理体制

■ 当施設を運営する法人がグループとして特別養護老人ホームや認知症グループホームをはじめとする施設を多数保有しており、防火管理体制が確立されている。当施設では、サテライト型特養と小規模多機能型居宅介護を合わせた建物全体で防火管理体制を組んでおり、避難訓練も合同で行っている。

■ 当施設の消防計画書における自衛消防隊の編成と活動内容は以下の通り。

1. 通報、連絡係

火災報知器等により火災を覚知した場合、通報連絡順位、活動要領は次による。

①消防署、非常系統にて召集する。②必要事項について消防機関に対して第二報、第三報を行うとともに到着した消防隊の誘導、火災の状況報告を行う。

2. 避難誘導係

①火災を発見した場合、周囲の職員に周知する。②入居者に対し、無用な不安を抱かせない様、混乱の防止に努める。③火災発生場所より、避難方向、経路等を的確に判断し、入居者に指示を出す。④消防隊が現場に到着した場合は、未避難者の状況等を明確に報告する。⑤全員避難を確認した場合は統括責任者に報告する。

3. 消火係

①火災を覚知した場合は、直ちに火場場所に急行し、初期消火活動に全力をあげる。②消防隊が到着した場合は、消防隊に引き継ぎ、消火活動に必要な情報の提供に努める。

4. 防護・安全係

①ガス供給停止等の措置を行う。②扉等の開閉は避難者の有無を確認してから行う。

5. 指揮係

①隊長の補佐。②係への命令の伝達並びに情報の収集。③消防隊への情報の提供、火災発生現場への誘導。④その他災害指揮制上必要なこと

6. 救護係

①応急救護場所の設置。②負傷者の応急手当。③消防救急隊との連携及び協力。④入居者の避難確認、逃げ遅れた人の救助

7. 搬出係

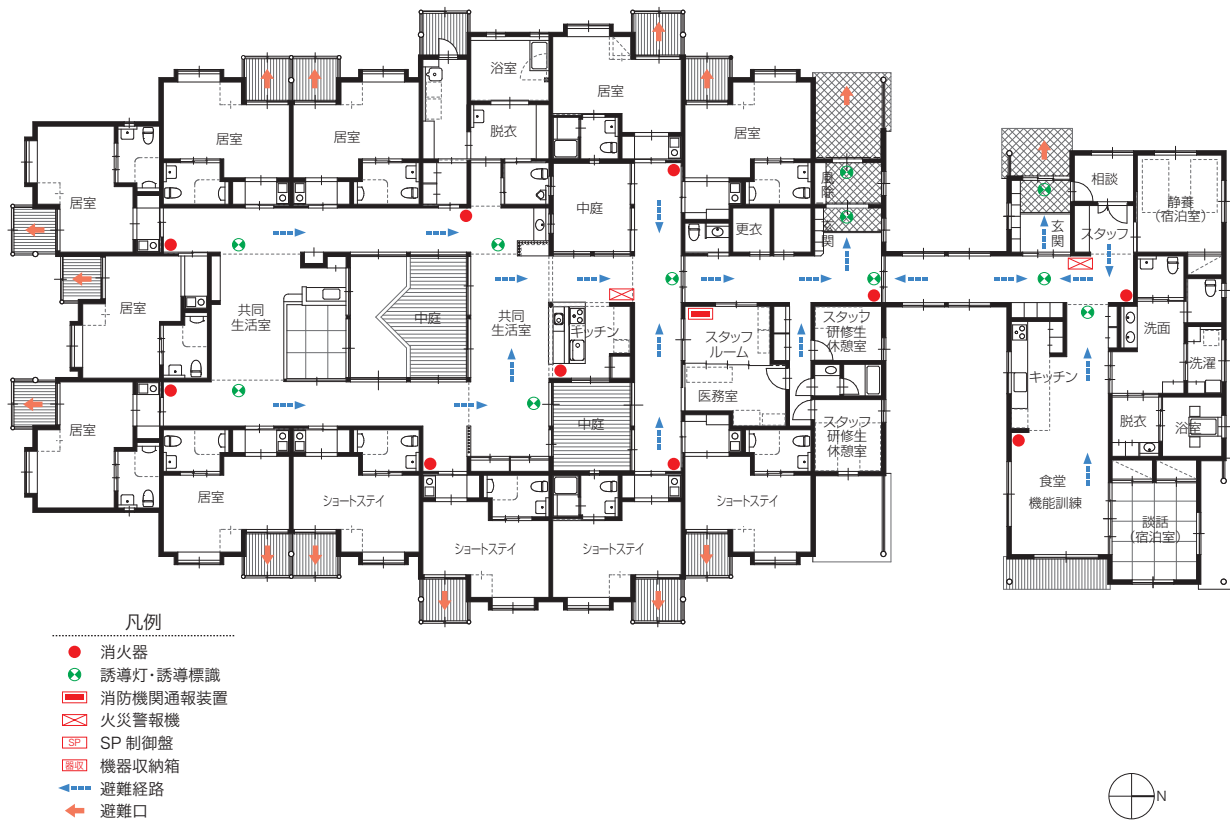
①入居者の搬出記録。②指定の物品等の搬出

なお、夜間における自衛消防活動は、当直者が利用者の人命安全を最優先した活動を行う。



サテライト型特養の事務室にある消防機関に通報する火災報知設備

小規模多機能の出入口付近に避難口誘導灯、消火器、自動火災報知設備の発信器



平面図

建築概要

工期：2005年5月～10月
 設計：(有)良建築設計事務所
 施工：(有)アジオ
 敷地面積：2,439㎡
 建築面積：749㎡
 延床面積：698㎡
 (サテライト型特養+小規模多機能型居宅介護)
 構造：木造（準耐火建築物）
 階数：地上1階

防火管理体制概要

夜勤体制：小規模多機能型居宅介護：1名
 サテライト型特養：1名
 防火管理者：選定している
 消防計画：策定している
 避難訓練：実施している
 昼間想定：1年に1回
 夜間想定：1年に1回（昼間に実施）
 地域住民の参加：あり
 地域の消防訓練への参加：あり

建築基準法上用途：児童福祉施設等
 建物の所有形態：賃貸
 土地の所有形態：賃貸

消防法区分（施行令 別表第一）：6項（イ）
 消火器：設置
 自動火災報知設備：設置
 消防機関へ通報する火災報知設備：設置
 消防水利：敷地外 約30m
 スプリンクラー：設置義務免除